

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	5,161	5,816
有価証券	84,474	86,222
有形固定資産	434	476
無形固定資産	6,806	7,295
その他資産	16,743	15,368
繰延税金資産	4,993	4,839
資産の部合計	118,612	120,019
負債の部		
保険契約準備金	91,564	94,437
支払備金	24,192	24,564
責任準備金	67,371	69,872
その他負債	7,512	5,886
未払法人税等	316	212
その他の負債	7,196	5,673
退職給付引当金	717	747
役員退職慰労引当金	40	43
賞与引当金	707	387
特別法上の準備金	61	66
価格変動準備金	61	66
負債の部合計	100,603	101,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△ 21,946	△ 21,497
株主資本合計	18,053	18,502
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 44	△ 52
評価・換算差額等合計	△ 44	△ 52
純資産の部合計	18,009	18,449
負債及び純資産の部合計	118,612	120,019

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
経常収益	20,469	21,751
保険引受収益	20,215	21,489
(うち正味収入保険料)	20,208	21,481
(うち積立保険料等運用益)	7	8
資産運用収益	217	231
(うち利息及び配当金収入)	206	226
(うち有価証券売却益)	19	13
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 7	△ 8
その他経常収益	35	30
経常費用	19,680	21,025
保険引受費用	15,100	16,131
(うち正味支払保険金)	10,267	11,461
(うち損害調査費)	1,221	1,395
(うち諸手数料及び集金費)	413	400
(うち支払備金繰入額)	164	372
(うち責任準備金繰入額)	3,033	2,501
資産運用費用	1	0
営業費及び一般管理費	4,573	4,891
その他経常費用	4	2
経常利益	789	725
特別利益	-	-
特別損失	4	4
特別法上の準備金繰入額	4	4
価格変動準備金繰入額	4	4
税引前四半期純利益	785	721
法人税及び住民税	427	114
法人税等調整額	△ 138	157
法人税等合計	289	272
四半期純利益	495	449

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		20,022	21,214	1,192	6.0 %
(元受正味保険料)		(20,022)	(21,214)	(1,192)	(6.0)
経 損	保険引受収益	20,215	21,489	1,274	6.3
	(うち正味収入保険料)	(20,208)	(21,481)	(1,273)	(6.3)
	保険引受費用	15,100	16,131	1,031	6.8
	(うち正味支払保険金)	(10,267)	(11,461)	(1,193)	(11.6)
	(うち損害調査費)	(1,221)	(1,395)	(174)	(14.3)
	(うち諸手数料及び集金費)	(413)	(400)	(12)	(3.0)
	資産運用収益	217	231	13	6.4
	(うち利息及び配当金収入)	(206)	(226)	(20)	(9.8)
	(うち有価証券売却益)	(19)	(13)	(6)	(32.5)
	資産運用費用	1	0	1	93.2
営業費及び一般管理費		4,573	4,891	317	7.0
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)		(4,549)	(4,865)	(316)	(6.9)
その他経常損益		31	27	3	10.1
益	経常利益	789	725	63	8.0
	(保険引受利益)	(565)	(491)	(73)	(13.0)
特別 損益	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	4	4	0	8.1
	特別損益	4	4	0	-
税引前四半期純利益		785	721	63	8.1
法人税及び住民税		427	114	313	73.3
法人税等調整額		138	157	296	-
法人税等合計		289	272	17	6.0
四半期純利益		495	449	46	9.4
諸 比率	正味損害率	56.9%	59.9%	/	/
	正味事業費率	24.6%	24.5%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 諸比率は次の算式によつております。

正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
			%	%		%	%
火災	海上	32	0.2	3.1	63	0.3	97.9
傷害	自動車	1,805	9.0	2.2	1,931	9.1	6.9
自動車損害賠償責任		18,184	90.8	7.4	19,219	90.6	5.7
		—	—	—	—	—	—
合計		20,022	100.0	6.9	21,214	100.0	6.0

正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
			%	%		%	%
火災	海上	61	0.3	3,516.4	69	0.3	11.6
傷害	自動車	2	0.0	△ 27.3	42	0.2	1,409.6
自動車損害賠償責任		1,875	9.3	2.8	2,001	9.3	6.8
		18,117	89.7	7.4	19,150	89.1	5.7
		150	0.7	△ 5.6	217	1.0	45.1
合計		20,208	100.0	7.1	21,481	100.0	6.3

正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		
		金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
			%	%		%	%
火災	海上	7	65,393.4	12.7	0	△ 95.3	9.0
傷害	自動車	8	159.1	293.1	122	1,370.0	285.5
自動車損害賠償責任		426	12.8	25.1	467	9.5	26.6
		9,627	10.3	59.6	10,631	10.4	62.4
		197	28.8	131.4	239	21.3	109.8
合計		10,267	10.8	56.9	11,461	11.6	59.9

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	27,511	28,069
資本金又は基金等	18,053	18,502
価格変動準備金	61	66
危険準備金	54	56
異常危険準備金	9,406	9,519
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△ 63	△ 75
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	9,862	10,045
一般保険リスク (R ₁)	8,929	9,097
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	58	60
資産運用リスク (R ₄)	309	313
経営管理リスク (R ₅)	297	303
巨大災害リスク (R ₆)	627	637
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	557.8 %	558.8 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。
 なお、当第1四半期会計期間(平成24年6月30日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(平成24年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。単体ソルベンシー・マージン比率は、リスク計測の厳格化等を図るため、平成23年度末(平成24年3月31日)から算出にかかる法令等が改正されています。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク)：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険(予定利率リスク)：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険(資産運用リスク)：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険(経営管理リスク)：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク)：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。